



2023年10月12日

各位

会社名 株式会社 シーズメン
代表者名 代表取締役社長 植杉 泰久
(東証スタンダード・コード 3083)
問合せ先 取締役管理本部長 保住 光良
(TEL 03-5623-3781)

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年4月13日に公表いたしました2024年2月期第2四半期連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたこと、また当該実績値等を踏まえ、本日開催の取締役会において、2024年2月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2024年2月期第2四半期連結業績予想数値と実績との差異 (2023年3月1日～2023年8月31日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	3,120	70	65	25	8.67円
今回実績値(B)	2,863	0	△0	7	2.60円
増減額(B-A)	△257	△70	△65	△18	-
増減率(%)	△8.2	-	-	△72.0	-
(ご参考)前期実績 (2023年2月期第2四半期)	3,126	△196	△189	△212	△73.64

2. 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,050	60	50	5	1.73円
今回予想値(B)	5,865	60	50	5	1.73円
増減額(B-A)	△185	0	0	0	-
増減率(%)	△3.1	0.0	0.0	0.0	-
(ご参考)前期実績 (2023年2月期)	6,305	△256	△250	△302	△104.90

3. 差異及び修正の理由

2024年2月期第2四半期連結累計期間につきましては、新型コロナウイルスの影響緩和による売上高の拡大を見込んでおりましたが、5月以降の異常な高気温や、度重なる週末の大雨などの天候不順の影響もあり、売上の回復は想定を下回る推移となりました。ブランド商品やキャラクター商品など、特定の顧客層をもつ商品群は好調に推移したものの、カジュアル衣料全般の商品群が苦戦をいたしました。

売上総利益は、仕入数量・金額を抑制しつつ精度の高い商品仕入れを行うことを徹底し、また、セールを抑制して値引き販売を削減したことにより、売上総利益率は想定を上回る結果となりました。

販管費は、経営体制の見直し再構築にかかる一時費用などの増加要因もあり、想定を上回る結果となりました。

売上総利益率の改善において、一定の成果が出ており、前年同期との対比では利益面において大きな改善が見られたものの、売上高・販管費における、上記諸要因による前回予想に対するマイナスを挽回するには至りませんでした。

以上の理由により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回予想を下回りました。

2024年2月期通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、売上高は前回予想数値を下方修正するものの、売上総利益率は、第2四半期連結累計期間に引き続き改善が見込まれ、また、販管費につきましては当初予想の範囲内での推移が見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前回予想数値を据え置きといたしました。

以 上